



一般社団法人 鹿児島県住宅宅地産業協会

KAJUKYO

鹿住協だより Vol. 4
2015年11月号

【事務局】
〒890-0073 鹿児島市宇宿2丁目1-8 日米礦油ビル
TEL 099-285-0101 FAX 099-285-0122

ネットゼロエネルギーハウスセミナー



セミナーに当たり挨拶する逆瀬川理事長

県住宅宅地産業協会（逆瀬川勇理事長）は11月19日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで11月定例会を開いた＝写真＝。会員ら約50人が参加し、国が進める新築住宅におけるZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）標準化の事業内容などに理解を深めた。

逆瀬川理事長は、「われわれ住宅産業は、総合的な

環境性能に関する省エネルギー対策を促進していかなければならない。しっかりと学び、今後の事業運営に役立ててほしい」と挨拶。

講習会のテーマは、「エネファームと省エネ基準適合住宅」について。ENEOSグローバルエネルギーシステム開発部の我戸護システム販売グループマネージャーと川畑禎久九州地区担当マネージャーが講師を務め、ZEH住宅と一般住宅を購入した場合の省エネ（電気料金削減）比較や施主のメリット、普及に向けた国の施策、補助金制度などについて説明した。

その中で我戸氏は、「2020年には、ゼロエネルギー住宅が新築住宅の標準になる。今後、省エネ住宅やZEH住宅へのニーズが高まり、既築住宅への適用範囲の拡大が見込まれる」と述べた上で、「エネファームやPVの取扱いが増えることが予想されるので、先を見据えた準備と一般消費者の理解を得られる提案力が必要になる」と呼び掛けた。



ZEH住宅について説明する我戸氏

11月定例会

定例会では、11月11日に急逝した池田勝治同協会理事兼広報企画委員会副委員長（皇徳寺ケーブルテレビ統括本部長）に哀悼の意を込め1分間の黙禱。逆瀬川理事長は、「大切な友人を失い残念でならない」と故人を偲び、「池田理事の遺志を引き継ぎ、会の発展に取り組んでいきたい」と話した。また、2017年11月9日に本県で主管される全住協全国大会についての報告もあり、一層の協力を要請した。

里良男住宅宅地流通部会長の乾杯の発声で開宴。出席者は互いに杯を酌み交わし、新たな年に向けて一致団結していくことを誓い合った。また、各委員会および部会からの報告が行われたほか、新入会員のアフタープラス㈱（坂本浩信社長）の紹介もあった。



定例会の冒頭挨拶する逆瀬川理事長



里良男住宅宅地流通部会長の乾杯の発声

宅地造成5現場を視察

よりよい街づくりの実現を

10月24日、鹿児島市内の宅地造成5現場を対象に視察を実施。会員ら約20人が参加し、耐震に向けた地盤改良や盛土などの状況など見て回った＝写真＝。

現場は、㈱富士土木エンジニアリングが開発するシャイニーヒル広木や海江田道路沿現場、㈱東邦開発のバルタウン山田など。参加者らは、企画段階から工事の進め方など再確認し、理解を深めた。

逆瀬川理事長は「よりよい街づくりの実現に向

け、意欲的に宅地開発に取り組んでいきたい」と話した。また同協会宅地開発部会の西元春義部会長は「耐震地盤など技術や品質の向上に努め、素晴らしい街並みを市民に届けていきたい」と呼び掛けた。



新規入会員

introduce



坂本 浩信
（アフタープラス㈱）
（広報企画委員会）

電気をメインとした会社だが、2年前から住宅建築にも参入しています。

会員各位の助言をいただきながら、頑張っていきたい。

謹んでお悔やみ申し上げます 池田 勝治氏



当協会理事兼広報企画委員会副委員長の池田勝治氏が11月11日に急逝。

同氏は、会員拡充および広報の中心として当協会の発展に多大な功績を残されました。心よりお悔やみ申し上げます。

次回定例会のご案内

next schedule

日時 平成28年1月8日（金）19:00～ 場所 鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市与次郎）

受付 18:30～ 新年会 19:00～